B6FH-B202-01 Z0-00

FUJITSU Notebook LIFEBOOK

LIFEBOOK A746/P
LIFEBOOK A746/PW
LIFEBOOK A576/P
LIFEBOOK A576/PX
LIFEBOOK A576/PW

BIOS セットアップメニュー 一覧

BIOSセットアップメニュー詳細

BIOSセットアップのメニューについて説明しています。
BIOSセットアップのメニューは次のとおりです。

メニュー	説明
情報 (→P.3)	BIOSやパソコン本体についての情報が表示されます。
システム (→P.3)	日時や言語、ドライブの機能などを設定します。
詳細 (→P.4)	CPUや内蔵デバイス、周辺機器などを設定します。
セキュリティ (→P.6)	パスワードなどのセキュリティ機能を設定します。
起動 (→P.8)	本パソコンの起動時の動作について設定します。
終了 (→P.8)	設定値の保存や読み込み、BIOSセットアップの終了などを行います。

重要

- BIOSセットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

POINT

- ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動すると、設定変更のできる項目が制限されます。制限された項目はグレーに表示されます。
  ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合に変更できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定項目	
システム	システム時刻	
	システム日付	
	言語（Language）	
詳細	ディスプレイ設定	ディスプレイ
	CPU設定	マルチコア
		SpeedStep(R) テクノロジー
	各種設定	電源ボタン
		LANによるウェイクアップ
		自動Save To Disk
		音量設定
		ハードウェア省電力機能
		アイドル状態における CPU省電力（AC）
		アイドル状態における CPU省電力（バッテリ）
	Intel(R) Management Engine設定	Intel(R) MEセットアップ
		Intel(R) AMT Fast Call for Help
		SOLコンソールタイプ
	イベントログ設定	イベントログの表示
セキュリティ	ユーザー用パスワード設定	
	ハードディスクセキュリティ	ドライブn： ユーザーパスワード設定
終了	変更を保存して終了する	
	変更を保存せずに終了する	
	変更を保存する	
	変更を保存して電源を切る	

情報メニュー

BIOSやパソコン本体についての情報が表示されます。設定を変更することはできません。

設定項目	備考
型名	
カスタムメイド番号	
製造番号	
BIOS版数	
EC版数	
CPUタイプ	
全メモリ容量	1MB=1024^2バイト換算
メモリスロット1	1MB=1024^2バイト換算
メモリスロット2	1MB=1024^2バイト換算
MACアドレス	
UUID	
パネルID	

システムメニュー

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
システム時刻 00：00：00～23：59：59	【Tab】キー／【Enter】キー ……右の項目に移動 【Shift】＋【Tab】キー ……左の項目に移動
システム日付 01/01/2000～12/31/2099	【Tab】キー／【Enter】キー ……右の項目に移動 【Shift】＋【Tab】キー ……左の項目に移動
ドライブ構成	
ドライブ0 □使用しない　■使用する	
ドライブ1 □使用しない　■使用する	
言語（Language） □English（US）　■日本語（JP）	

詳細メニュー

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
起動設定	
高速起動 Windows 10／ Windows 8.1の場合 □使用しない　■使用する Windows 7の場合 ■使用しない　□使用する	
互換性サポートモジュール Windows 10／ Windows 8.1の場合 ■使用しない　□使用する Windows 7の場合 □使用しない　■使用する	・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「セキュアブート機能」が「使用しない」 ・「セキュアブート機能」が「使用する」に設定されている場合、本設定は「使用しない」に固定され変更不可
ネットワークサーバーからの起動 □使用しない　■使用する	
ネットワーク起動のプロトコル □使用しない □IPv4　□IPv6 ■IPv4 and IPv6	下記の項目が次のように設定されているときに表示 ◆「互換性サポートモジュール」が「使用しない」 ◆「ネットワークサーバーからの起動」が「使用する」
ネットワーク起動の優先プロトコル ■IPv4　□IPv6	下記の項目が次のように設定されているときに表示 ◆「互換性サポートモジュール」が「使用しない」 ◆「ネットワークサーバーからの起動」が「使用する」
キーボード設定	
起動時のNumlock設定 □オン　■オフ □オン（Fnキー）	標準キーボード搭載機種のみ表示
起動時のNumlock設定 ■オン　□オフ	テンキー付キーボード搭載機種の場合
ディスプレイ設定	・OS起動後はOSの設定に従う ・下記の項目が次のように設定されているときに表示 ◆「互換性サポートモジュール」が「使用する」
ディスプレイ □液晶ディスプレイ □外部ディスプレイ ■自動	

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
その他の内蔵デバイス設定	
シリアルATAコントローラー □使用しない　■使用する	
Audioコントローラー □使用しない　■使用する	
Bluetooth(R) □使用しない　■使用する	搭載機種のみ表示
内蔵LANデバイス □使用しない　■使用する	
無線LANデバイス □使用しない　■使用する	搭載機種のみ表示
指紋センサー □使用しない　■使用する	搭載機種のみ表示
手のひら静脈センサー □使用しない　■使用する	搭載機種のみ表示
内蔵カメラ □使用しない　■使用する	搭載機種のみ表示
SDスロット □使用しない　■使用する	搭載機種のみ表示
スマートカード □使用しない　■使用する	搭載機種のみ表示
近接通信デバイス □使用しない　■使用する	搭載機種のみ表示
Intel(R) PTT ■使用しない　□使用する	

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
CPU設定	
マルチコア □使用しない　■使用する	対応CPU搭載時に表示
HTテクノロジー □使用しない　■使用する	対応CPU搭載時に表示
SpeedStep(R) テクノロジー □使用しない　■使用する	対応CPU搭載時に表示
Virtualization Technology □使用しない　■使用する	
Intel(R) VT-d ■使用しない　□使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「Virtualization Technology」が「使用する」
Intel(R) TXT ■使用しない　□使用する	対応CPUおよびセキュリティチップ搭載で、下記の項目が次のように設定されているときに表示 ・「Intel(R) PTT」が「使用しない」 下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「Virtualization Technology」が「使用する」 ・「Intel(R) VT-d」が「使用する」 ・「セキュリティチップ」が「使用する」（TPM 2.0の場合） ・「現在のTPM状態」が「有効かつ使用可」（TPM 1.2の場合）
USB設定	
レガシー USBサポート □使用しない　■使用する	「使用しない」時はFDDユニット（USB）からの起動不可
SCSIサブクラスサポート □使用しない　■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「レガシー USBサポート」が「使用する」 ※注1
USBポート □使用しない　■使用する	
XHCIコントローラー設定 ■標準モード　□互換モード	

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
各種設定	
電源ボタン ■使用しない　□電源オフ	ACPI対応OSでは無効
LANによるウェイクアップ ■使用しない　□使用する	「使用する」設定時は、消費電力が増加するためACアダプタ使用推奨 ※注2
バッテリ運用時 □使用しない　■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「LANによるウェイクアップ」が「使用する」
強制LANブート ■使用しない　□使用する	
LANによるレジューム □AC接続時のみ　■常に有効	
自動Save To Disk □オフ　■オン	
音量設定 □オフ　□小　■中　□大	
ハードウェア省電力機能 □使用しない　■使用する	
アイドル状態におけるCPU省電力（AC） ■省エネルギー □低電力　□標準	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「ハードウェア省電力機能」が「使用する」
アイドル状態におけるCPU省電力（バッテリ） ■長時間稼動 □低電力　□標準	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「ハードウェア省電力機能」が「使用する」
Intel(R) Management Engine設定	対応CPU搭載時に表示
Intel(R) MEセットアップオプション □使用しない■使用する	
Intel(R) MEセットアップ ＞Enter	再起動後にME設定メニューに入る

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
USBプロビジョニング □使用しない■使用する	
Intel(R) AMT Fast Call for Help ＞Enter	・再起動後に確認メッセージ表示 ・管理サーバーが設定されていない場合は使用禁止
Intel(R) ME設定のクリア ＞Enter	
SOLコンソールタイプ □PC-ANSI　□VT-100+ ■VT-UTF8	
イベントログ設定	
イベントログ領域の状態	
イベントログ内容の状態	
イベントログの表示 ＞Enter	
イベントログ □保存しない　■保存する	
イベントログの消去 ＞Enter	
イベントログのマーク ＞Enter	現在までのイベントログを既読に設定し、以降表示されないようにする

注1： 接続されているデバイスによっては、「使用する」に設定すると本パソコンが起動しなくなる場合があります。その場合は、デバイスを取り外して再起動してください。

注2： Windows 10／Windows 8.1の場合、Windowsの高速スタートアップを無効にしてください。詳しくは、『製品ガイド』の「5章 BIOS」―「Wakeup on LANを有効にする」をご覧ください。

セキュリティメニュー

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
管理者用パスワード	設定状況を表示
ユーザー用パスワード	設定状況を表示
管理者用パスワード設定 ＞Enter	⇨『製品ガイド』の「5章 BIOS」―「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザー用パスワード設定 ＞Enter	「管理者用パスワード」設定時に設定可能 ⇨『製品ガイド』の「5章 BIOS」―「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザー用パスワード文字数 0～32	「管理者用パスワード」設定時に設定可能
起動時のパスワード ■使用しない　□最初のみ □毎回	「管理者用パスワード」設定時に設定可能
自動ウェイクアップ時 ■使用しない　□使用する	・LAN／タイマーなどによる自動ウェイクアップ時のパスワード要求有無を設定 ・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「起動時のパスワード」が「最初のみ」または「毎回」
取外し可能なディスクからの起動 ■常に可能　□管理者のみ	「管理者用パスワード」設定時に設定可能
システムファームウェア更新機能 □使用しない　■使用する □使用する（制限付き）	
起動メニュー □使用しない　■使用する	【F12】キーによる起動メニュー呼び出しの設定
ハードディスクセキュリティ	
ドライブ0	設定状況を表示
マスターパスワード設定 ＞Enter	ハードディスクの「ユーザーパスワード」設定時に設定可能 ⇨『製品ガイド』の「5章 BIOS」―「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザーパスワード設定 ＞Enter	⇨『製品ガイド』の「5章 BIOS」―「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
起動時のパスワード入力 □使用しない　■使用する	設定にかかわらず再起動時は要求なし

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
所有者情報	
所有者情報	
所有者情報設定 　＞Enter	
文字色 　■グレー　　他	全16色から選択可
背景色 　■黒　　他	全16色から選択可
TPM（セキュリティチップ）設定	TPM 1.2の場合
セキュリティチップデバイス 　TPM 1.2	TPM 1.2搭載で下記の項目が次のように設定されているときに表示 ◆「Intel(R) PTT」が「使用しない」
セキュリティチップ 　□使用しない　■使用する	設定変更は再起動後に有効
現在のTPM状態	
TPM状態の変更 　■変更しない 　□有効かつ使用可 　□無効かつ使用不可	設定変更は再起動後に有効
セキュリティチップのクリア 　＞Enter	・クリアは再起動後に実行 ・下記の項目が次のように設定されているときは選択不可 ◆「現在のTPM状態」が「無効かつ使用不可」
TPM（セキュリティチップ）設定	TPM 2.0の場合
セキュリティチップデバイス 　TPM 2.0 　Intel(R) PTT	・TPM 2.0搭載時は「TPM 2.0」と表示 ・セキュリティチップ非搭載で「Intel(R) PTT」が「使用する」の場合は、「Intel(R) PTT」と表示
セキュリティチップ 　□使用しない　■使用する	設定変更は再起動後に有効
セキュリティチップのクリア 　＞Enter	クリアは再起動後に実行
セキュアブート設定	
セキュアブート	設定状況を表示 ※注1 ※注2
署名情報の保護	設定状況を表示

□選択肢　■初期値

設定項目	備考
署名情報の状態	設定状況を表示
セキュアブート機能 Windows 10／ Windows 8.1の場合 □使用しない　■使用する Windows 7の場合 ■使用しない　□使用する	本設定を「使用する」に設定すると、「互換性サポートモジュール」の設定が自動的に「使用しない」に固定され選択不可
署名情報のカスタマイズ ＞Enter	
署名情報の初期化 ＞Enter	
3rd-Party UEFI CAの削除 ＞Enter	

注1：「セキュアブート機能」が「使用する」で、Windows 10（UEFIモード）およびWindows 8.1（UEFIモード）以外のOSから起動した場合、「起動可能なデバイスが見つかりませんでした」、「セキュアブートに失敗しました。**アクセス拒否**」などのメッセージが表示されます。
また、起動メニューから起動デバイスを選択した場合に、「選択したデバイスから起動できませんでした」と表示されたり、起動メニューが再表示される現象が発生します。

注2：Windows 10のモード（UEFI／レガシー）は、次の手順で確認できます。
1　Windows 10を起動します。
2　タスクバーの「検索」ボックスに、「msinfo32」と入力して【Enter】キーを押します。
「システム情報」が表示され、「BIOSモード」の項目に「UEFI」または「レガシー」が表示されています。

Windows 8.1のモード（UEFI／レガシー）は、次の手順で確認できます。
1　Windows 8.1を起動します。
2　【 ⊞ 】＋【C】キーを押すか、チャームを表示します。
3　「検索」をクリックし、「msinfo32」と入力して【Enter】キーを押します。
「システム情報」が表示され、「BIOSモード」の項目に「UEFI」または「レガシー」が表示されています。

起動メニュー

設定項目	備考
起動デバイスの優先順位	
Windows Boot Manager[注1] Floppy Disk Drive Drive0 HDD CD/DVD Drive NETWORK USB HDD USB CD/DVD	⇨『製品ガイド』の「5章 BIOS」―「起動デバイスを変更する」を参照

注1： OSの構成により表示されない場合があります。

終了メニュー

設定項目	備考
変更を保存して終了する	
変更を保存せずに終了する	※注1
標準設定値を読み込む	次の項目は対象外 ・言語設定 ・システム時刻 ・システム日付 ・高速起動 ・互換性サポートモジュール[注2] ・Intel(R) MEセットアップオプション ・USBプロビジョニング ・管理者用パスワード ・ユーザー用パスワード ・ハードディスクパスワード ・所有者情報 ・セキュアブート設定 ⇨『製品ガイド』の「5章 BIOS」―「ご購入時の設定に戻す」を参照
変更前の値を読み込む	
変更を保存する	
変更を保存して電源を切る	

注1： 確認画面で「はい」を選択すると、変更が保存されてしまいます。「いいえ」を選択してください。
注2：「セキュアブート機能」が「使用する」の場合には、「互換性サポートモジュール」設定が自動的に「使用しない」に固定され、「標準設定値を読み込む」は対象外となります。